2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	臨床作業療法学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期　月3・4	教室名	403、学内複数教室
担当教員	OT学科専任教員、 松本 周三	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

2年次の最後から3年次にかけて行われる臨床実習では、それまでに学習した専門基礎科目・専門科目の内容を踏まえた知識・技術の統合が実践的な場で図られる。また、専門職業人の適性・態度と一社会人としての基礎力(リテラシーとコンピテンシー)が問われることとなる。本科目ではこれらの臨床能力を高めるため、事例を通した統合と解釈やクリニカルリーズニングの演習などを通して、知識・技術・態度の向上と統合の助けを行っていく。

《成績評価の方法と基準》

課題レポート100%で評定する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

■教科書: 配布資料、 標準作業療法学　専門分野　作業療法臨床実習とケーススタディ［第2版］(医学書院)、
OT症例レポート赤ペン添削　ビフォー&アフター (羊土社)
■参考書: 作業療法評価学や身体障害治療学・老年期障害治療学などで利用する教科書や配布資料

《授業外における学習方法》

基本的に次の通り。
【事前学習】課題内容を確認し、医学的情報の確認、観察内容の言語化、考察・クリニカルリーズニング内容の言語化などを進める。
【事後学習】資料整理と復習。教員からのフィードバック内容や学生同士での協議内容を要点整理し、記録を行う。

《履修に当たっての留意点》

・課題を明示するため、予め予習しておくこと。課題内容は、臨床実習での観察記録等のレポート課題の遂行能力を高めるものとなる。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	①ICFを使って事例情報を整理できる。	教科書	【事前学習】シラバス内容の確認。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例1演習①** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	①ICFを使って事例情報を整理できる。	教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例1演習②** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	②事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。 ③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。	教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例1演習③** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	②事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。 ③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。	教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例1演習④** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。	教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例1演習⑤** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	①ICFを使って事例情報を整理できる。	教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例2演習①** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	①ICFを使って事例情報を整理できる。	教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例2演習②** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	②事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。 ③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。	教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例2演習③** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	②事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。 ③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。	教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例2演習④** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	②事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。 ③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。	教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例2演習⑤** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	②事例の目標設定や介入プログラム立案ができる。 ③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。	教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例2演習⑥** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。	教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例2演習⑦** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。	教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例2演習⑧** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。	教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例2演習⑨** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	③OTの臨床思考過程を他者に説明できる。	教科書	【事前学習】前回までの学習内容の復習。(10分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。発表準備。(50分)
		各コマにおける授業予定	**事例2演習⑩** 事例演習を通して、統合と解釈やクリニカルリーズニングの練習を行う。		